



【氏 名】 石川 瑞穂

【入会年度】 平成26年度

【出身大学&学部&学科】

明治大学 農学部 生命科学科

【所属部署】 農業対策部

1. 中央会を選んだ理由

地元である栃木県で就職したいと考えていました。それまで農業に直接携わったことは無かったのですが、実家の周りの美しい田園風景が大好きだったこととTPP等の問題で農業を取り巻く環境が激変していたこともあり、少しでも栃木の農業の力になれないかと志望しました。

2. 担当している仕事

農家である組合員の決算・確定申告を支援するという仕事をしています。年度末に確定申告を行うためには、日頃からいくら経費がかかったか、いくら売上があったかなどの収支を記録することが必要です。しかし農作業の繁忙期はどうしてもおろそかになりがちなので、JAのシステムより農業の収支を把握するとともに、組合員本人との面談を通して、申告書作成のための資料を渡しています。また、JAにおいて、この事業の利用者を増やすための推進活動も行っています。あわせて、各JAの職員に対して簿記等の研修会を開催しています。農業の収支を把握するためには、簿記の知識が不可欠になってくるからです。

3. 仕事のやりがい

入会した当初は、農業や簿記に関する知識が乏しく、自分の担当している仕事がどのように形になっていくのか分かりませんでした。しかし1年を通して組合員の経営を追い最終的に決算書等を作成していく過程で、農業経営の流れがおぼろげながら掴めてきたように感じます。また、作成した資料を組合員にお渡しすると「今年も助かった」という感謝の言葉を聞くことができ、1年間頑張ってきた良かったと実感しました。

4. 中央会の魅力（後輩へのアドバイス）

中央会では、入会したときから「中央会職員」としての自覚が求められます。各JAの担当者からの問い合わせにも正確に回答していかなければなりません。私自身も最初は質問を受けるたびに緊張していましたが、知識・経験ともに豊富な諸先輩方にアドバイスを頂きながら対応しています。JAの担当者から教わることも多く、幅広い人脈を築きながら自分の知識を深め、またそれを活かす場があることが中央会の魅力だと感じています。



【氏 名】 小林 杏奈

【入会年度】 平成28年度

【出身大学&学部&学科】

宇都宮大学 工学部 情報工学科

【所属部署】 電算開発部

1. 中央会を選んだ理由

就職活動をするうちに、できるだけ人の生活に関わりのある仕事をしたいと思い、そのようなシステム開発、運用系の職場を探していたところ、大学側に中央会の求人が届いていることを知りました。システムの質を向上していく上では外部からの様々な意見を取り入れる必要がありますが、これが行いやすい環境が整えられています。良いシステムに携わるチャンスだと思い、就職を希望しました。

2. 担当している仕事

J Aが使用している金融システムの操作に関する問い合わせに対応しています。私は信用事業の担当なので、貸付に必要な端末操作の質問が寄せられます。また、金融システムが管理している顧客等のデータを定期的にJ Aに還元するため、それに必要な補完システムの開発も行っています。端末機の前で行う業務ばかりですが、システム上の誤りは実際に顧客やJ Aに影響を与えるものです。人を相手にした仕事である、という責任感を常に持たなければならないと思っています。

3. 仕事のやりがい

金融システムで要求される操作は、顧客の状況や案件の金額、契約内容によってさまざまに変化します。そのため、ただシステムに習熟するだけではなく、契約時にどのような金銭の流れが発生するのかを理解して、1案件ごとに適切な操作を行わなければなりません。大変ですが、調べなければならないこと、覚えなければならないことが多い分、一つ一つの問い合わせへの対応が自分の経験として積み上げられていく実感も強いです。

4. 中央会の魅力（後輩へのアドバイス）

J Aは様々な事業を総合して行っているため、そこで働く職員は様々なアプローチで栃木県の農業を支えています。そして、そのためには特定の分野だけでなく様々な知識を学んでいく必要があります。そうやって得た知識は確実に個人の成長につながりますし、その知識を生かし、仕事ができる環境が整っている職場であると感じます。分からないことは調べて、それでもわからなければ先輩に相談して、出来る仕事を少しずつ増やしていくのはとても充実した毎日です。



【氏 名】 賀川 亮
【入会年度】 平成26年度
【出身大学&学部&学科】
宇都宮大学 教育学部
総合人間形成過程
【所属部署】 経営指導部

1. 中央会を選んだ理由

私は、まず、地元で働きたいという思いがあり、その前提で就職活動をしていく中で、中央会の存在を知りました。農家を支えるJAを支える立場で、直接農業ができなくても、県内の農業に貢献できることに魅力を感じ、中央会を選びました。

2. 担当している仕事

私が主に担当している仕事は、大きく言えば部署名のとおり、JAの経営を指導することです。具体的には、JAに関係する法律の改正に合わせて、会議の場を設けて説明したり、JAが行っている多くの事業の中で、利用事業や福祉事業について損益の分析、問い合わせの対応を行っています。

3. 仕事のやりがい

仕事のやりがいは、やはり、質問等に答えたとき、JAの方から感謝されることです。質問についても、自分で調べて答えるため、一つ一つ自分の知識になり、やりがいを感じます。また、JAの管理職以上の方と関わる機会が非常に多いので、社会人としても勉強になる経験がたくさんできることです。

4. 中央会の魅力（後輩へのアドバイス）

仕事の関係上、人前に立って発言をするという機会がたくさんあり、1年目でも、担当している業務や、簡単な内容などは積極的に任されます。そういった人に何かを伝える、教えるという仕事に興味がある人には、とても魅力的な職場だと感じています。また、私自身、入会するまで農業の知識はあまりありませんでした。そういった人でも、県内の農業に貢献したいという思いがあれば、活躍することができる職場だと思います。



【氏 名】 我妻 翔太
【入会年度】 平成26年度
【出身大学&学部&学科】
獨協大学 経済学部 経済学科
【所属部署】 電算企画運用部

1. 中央会を選んだ理由

特定の業務に関するシステムだけでなく、多様なシステムの開発を行っていることを重視して就職先を探していたところ、中央会の電算職募集の新聞広告を見つけたことがきっかけでした。

良いシステムを作るには、業務知識の共有などコミュニケーションを図ることが不可欠ですが、中央会では県内JAと連携してシステム開発を行っているのもそれが実現できます。また、栃木の重要な産業である農業に貢献できることにも魅力を感じ中央会で働こうと決めました。

2. 担当している仕事

JAの利用する情報システムの運用業務を担当しています。システムが円滑に稼働できるよう、JAや取引先の企業等から送られてくるデータの処理やシステムの監視、障害への対応が主な業務です。

また、部内で使用するツールの開発、新たに導入される電算機器のセットアップやテスト等も行っています。一つのミスが重大なトラブルを引き起こすこともあるので、冷静な判断力と確実な作業が求められます。

3. 仕事のやりがい

JAが業務を行う上でなくてはならない情報システムは、常に安定稼働を維持しなければいけません。そのためには信用、共済、購買、販売、管理といった各種システムに関する幅広い業務知識が必要です。まだまだ知識不足で苦勞することもあります。日々の業務やツール作成などを通して今までよくわかっていなかった部分を理解した時は成長が実感できます。

運用業務の場合、JAの職員や組合員と直接関わる機会は少ないですが、情報システムを通じてJAの業務の効率化に貢献することが、ひいては農業の発展に繋がって行くものと思っています。責任も大きくやりがいのある仕事です。

4. 中央会の魅力（後輩へのアドバイス）

J Aは総合事業を行っていることから、中央会の業務に必要とされる知識は非常に幅の広いものとなります。そのため、様々な分野について常に新しいことを学んでいかなければいけません。知識が増えれば任せてもらえる仕事も増え、身に付けたものを活かすことのできるのが中央会という職場です。常に新しいことに挑戦し、自分の成長にも繋がるような仕事に興味のある皆様には是非中央会を選択肢の一つに加えて欲しいと思います。



【氏 名】 坂本 陽香

【入会年度】 平成25年度

【出身大学&学部&学科】

東京女子大学 現代教養学部

人間科学科 コミュニケーション専攻

【所属部署】 経営指導部

1. 中央会を選んだ理由

私は就職活動を行う中で、地元の栃木県で働きたいと思うようになりました。JA栃木中央会のことは就職活動を始めてから知りましたが、県内のJAを指導・支援していくという縁の下の力持ちのような見えない仕事に魅力を感じました。また、中央会として栃木県内のJAと関わっていくことで、栃木県全体に貢献していくことができると感じ中央会を選びました。

2. 担当している仕事

法改正等に伴ってJA内の規程や要領を改正する際に、そのとりまとめを行い、会議で説明を行ったり、冊子の作成を行います。また、JAでは様々な事業を行っているなか、私は加工事業、利用事業、福祉事業等の担当として問い合わせ対応や損益の動きについて昨年度とどのようなことが変化したかその要因について分析を行っています。

JAや地域によって変化の要因は様々なので、JAの担当者から詳しく話を聞き分析したり、傾向についてまとめています。

3. 仕事のやりがい

JAの担当者から会計や法律について質問されることも多く、入会当初は電話をとる度に何を聞かれているのか、質問の内容さえ理解できませんでした。しかし、どういうことが知りたいのかをしっかりと聞いて理解し、自分で調べたり周りの先輩方からのサポートを受けて、少しずつ質問に答えられるようになってきたことが達成感に繋がります。

質問に答えるには様々な知識が必要になりますが、感謝されたときの達成感が日々の仕事のやりがいになっています。

4. 中央会の魅力（後輩へのアドバイス）

入会してから感じた事は、思った以上に自分の意見を発言できる環境がある事です。決まっておりに行う仕事もありますが、若いうちから担当の仕事があり、自分の意見を仕事に反映できるということは、仕事を行ううえでとても魅力的なことだと改めて感じました。栃木県の農業を盛り上げていきたいという気持ちがあれば、いろいろなことができる職場だと思います。